

千代田春闘共闘は、きょう 4 月 15 日に「千代田総行動」を展開し、その一環として駐日ロシア大使館に抗議を、同ウクライナ大使館に激励を行いました。その申し入れ文書を以下、掲載させていただきます。ロシアによるこれ以上の殺戮は看過できません。国際的世論を強めましょう。

ロシアは今すぐウクライナから出て行け！

2022 年 4 月 15 日

ロシア連邦

ウラジーミル ウラジーミロヴィチ プーチン 大統領閣下

駐日ロシア連邦大使館

ミハイル ユーリエヴィチ ガルージン 大使閣下

——貴国のウクライナ侵略に抗議し、即時・完全・無条件の撤退を要求する——

2 月 24 日、貴国が開始したウクライナへの軍事侵略は、ウクライナ市民の平穏な日常を踏みじめるもので、国連憲章に掲げられた「紛争の平和的解決の義務」に反するなど国際法にも明確に違反しており、国際的に禁じられた侵略行為そのものである。貴国のウクライナ侵略に強く抗議する。

貴国軍の攻撃により、ウクライナ市民の多くの尊い命と平和な暮らしは理不尽に奪われた。何の罪もない市民が、子どもたちまでもが殺傷され、今も危険にさらされている。このような行為はいかなる理由があろうと正当化できず、人道的にも断じて許されない。貴国軍による殺戮や略奪の実態がしだいに明らかになり、今なおウクライナで暮らす人々や難民となった人々の困難な生活の報道に接するたび、私たちの胸は締め付けられ、同時に激しく強い憤りを覚える。貴国の侵略行為は 21 世紀の国際秩序を根底から揺るがし、国際社会の平和と安全を脅かすもので、全世界の人々が平和のもとに安心して生きる権利を奪うものである。私たちは、貴国が直ちにウクライナへの攻撃を停止し、ウクライナから即時・完全・無条件に撤退することを求める。

さらに貴国は核兵器の使用すら仄めかした。核兵器は大量破壊と非人道的な殺戮しかもたらさない。にもかかわらず、核兵器の使用はもちろんのこと、それをちらつかせることで国際社会を威嚇・恫喝する貴国の姿勢は、核兵器のない世界の実現に向けた国際社会の努力を愚弄するとともに、人類と世界・国際社会に対する無謀な挑戦でもあり、到底容認できるものではない。史上唯一の戦争被爆国である日本の私たちは、核兵器の使用による惨禍を再び繰り返させないため、貴国を厳しく糾弾する。

貴国の侵略戦争に対し、世界の国々で反戦デモなどのとりくみが広がり、貴国内においても反戦の意思を表明した勇敢な市民がいる。私たちは、このような反戦・平和を求める世界の運動、労働団体と連帯することで貴国を包囲し、侵略戦争に反対するとりくみを強めていく。

また、この侵略戦争によって、ウクライナ市民のみならず、ロシア兵にも多くの死傷者が出ている。貴国の侵略行為は、自国民をも危険にさらしているものである。加えて貴国の他国侵略という暴挙は、国際社会からの孤立も招いている。国連総会はロシア軍の即時・完全・無条件撤退を求める決議案を 141 か国の賛成で採択した。多くの国が貴国への経済制裁に踏み切り、多くの国際企業が貴国での事業から撤退している。このような制裁は、最終的に貴国民の生活に反映される。貴国の暴挙は、自国民を苦しめることにつながっていくのである。

重ねて言う。いかなる戦争にも大義などない。武力による真の問題解決ではなく、戦争によって平和を得ることなどできない。貴国が行うべきは、平和を願うすべての人々の声に耳を傾け、国際社会との対話と協調によって平和的解決の道を探ることである。そのうえで、ウクライナへの侵略の償いを誠実に行うこと

が必要である。

千代田区春闘共闘委員会 議長 小林 秀治

2022年4月15日

ウクライナ国
ウオロディミル ゼレンスキー 大統領閣下

駐日ウクライナ国大使館
セルギー コルスンスキー 大使閣下

ロシア連邦の貴国への軍事侵略に断固抗議し貴国への連帯を表明します

私たちは、東京都千代田区内の労働組合、民主団体で構成する協議会で労働者の生活改善や雇用確保、税金や福祉等に関する国民の要求、日本国憲法や平和を守る活動を行っています。

本年2月24日にロシア連邦が貴国に対して開始した軍事侵略、民間人への無差別攻撃、虐殺に対して心からの怒りを以って断固抗議すると共に、それらに屈せず祖国を守るために困難なたたかいに立ち上がっている大統領閣下、貴国国民に敬意を表します。

ロシアの軍事進攻はウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章や国際法に反する侵略行為で暴挙です。プーチン大統領の核兵器の使用もあり得るという脅迫は、唯一の戦争被爆国である我々日本国民にとっては人類全体に対する犯罪と言わざるを得ません。これらは、グテレス国連事務総長が表明したとおり「近年で最も深刻な世界平和と安全保障の危機」です。

日本でも、ロシア軍によるマリウポリでの避難所の劇場へのミサイル攻撃、キーウ近郊ブチャでの一般市民虐殺、ドネツク州での避難民が集まった鉄道駅を狙ったミサイル攻撃、移動式の火葬設備を用いた虐殺の証拠隠滅、さらにマリウポリでの化学兵器の使用等について、連日報道されています。また一般市民虐殺にはロシア軍の殺戮部隊が関与していると報道されています。これらは明らかに国際人道法に反する恐るべき戦争犯罪行為です。

日本国内でもロシアの軍事侵略に対して抗議声明、デモンストレーション等の抗議活動、貴国への募金活動等が全国で行われています。千代田区内でも3月8日、そして本日4月15日に私たちも参加してメインストリート（靖国通り）でロシアの軍事侵略に抗議するデモンストレーションを行いました。

また本日私たちは、駐日ロシア大使館に対してロシアの軍事侵略に抗議し直ちに攻撃を止めるように申し入れを行いました。別添文書を参照ください。

日本政府は貴国からの避難民を受け入れ、4月4日には20人のウクライナ避難民がポーランドから政府専用機で羽田に到着しましたが、すでに約500人が貴国から日本に避難しています。政府は生活費、医療費等の支援策も発表しました。千代田区に於いては具体的な受け入れは現在は進んでいない模様ですが、避難民の住居、医療、就労、就学等への支援を直ちに進めるべきと考えています。

ロシアの軍事侵略に対し強い抗議を表明するとともに、微力ですがロシアの軍事侵略を止めさせ、貴国への支援の取り組みを進めます。私たちは貴国民とともにあります。

千代田区春闘共闘委員会 議長 小林秀治

*千代田区労協通信バックナンバー／http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news.htm

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

(次号で、両大使館への要請の模様をお知らせします)